

# どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

2月号(NO29)通巻 179号

2021年2月10日(日)発行(毎月10日)

【農暦】恵方巻はことのほか美味であった！

○相変わらず暖かい日と寒い日が交互に来る。寒い日は外出が億劫になる。努力なしでステイホームになる。コロナ自粛は1年になる。コロナ太りと自嘲しているが、コロナストレスはいろいろな所に出て来ている。3密は避けなくてはならないが、ストレス解放は必須である。エッセンシャルワーカーなどステイホームをしたくても出来ない人がある。医療現場、営業時短の店などの人達の心労は想像に余りあるものがあると思う。感謝と声援しかできないが、国、県にはきめ細かい支援と体制づくりを望みたい。もう1年になるのだから。

○2日節分、3日立春で4日には春一番が吹いたというが、例年(昨年22日)に比べ相当早い。節分には恵方巻を今年の恵方の南南東に向けて食べた。歳時記に込められた昔人に想いを馳せて、生活にアクセント付けるのも良いなと思っている。恵方巻はことのほか美味であった。

○日本は経済一流、政治三流と言われた？が、最近では経済も今一つであるが、銀座のクラブの深夜の酒、総理の長男の官僚接待、森会長の女性の発言など、目に余る問題が続出している。コロナの先行きが読めない中で起こっている。森会長へは世界から批判の声が上がっている。日本の世論は寂しいものがある。

○コロナ対策では発令指示ばかり目立って対策が見えない。ワクチンは欧米に比べ遅れている。PCR検査体制、医療体制の拡充がどれ程進んだかは見えず、毎日の感染者数の読みあげに一喜一憂している。“大本営発表”でないことを願いたい。三流政治ではコロナ収束が心配されるばかりである。

○やまぼうし、楓、山茶花など剪定をした。頑張った割に景色が変わらない。まだまだ伸び放題の木が目立つ。植える時には想像していなかったが、ある時から急に成長が速い。ブルーベリーの剪定を3分の1程して、キューイの剪定を優先して始めた。枝が可成り高く重なり合っており。少しずつ進めているが、暴れた高枝に苦戦している。2月末までには終わらしたいと思っているが、高枝切りを使うと、首肩が痛くなる、昨年痛めた手の指も痛みだした。ちょっとした無理が怖い、頑張れないのは寂しいが、2月から3月前半には終わらせたい。草がもう活動を始めている。(了)

【楽農】<畑>庭木類、ブルーベリー、キューイの剪定。

【楽市】イベントなど；詩吟の会、共生の会、川柳の会の例会は中止継続。



<オイヌノフグリの花>

散歩道で。6日撮影



<ツーツョット> 3日撮影

### 【つぶやき=Tweet】“未来の人類に誇れる10年にしたい！”

○時代劇が好きなのでNHKの「麒麟がくる」をほぼ毎回見ていた。7日が最終回なので楽しみにしていた。期待していたので、少しがっかりした。次がなぜ秀吉だったのか。天海僧正の明智光秀説など、歴史のIFを少し描いて欲しかった。少し物足りなかった。

○「麒麟がくる」の後そのままテレビを見ていたら、すごい映像が映し出されて来てた。

「2030 未来への分岐点 (2) 「飽食の悪夢、水・食料クライシス～」の番組である。先進国の食への飽くなき欲望が、世界中に「飢餓のパンデミック」を拡大させている。と云う。“日本で一年間に出来る食品廃棄物を世界に分配すれば、飢餓問題の多くを解決すると言われる。富めるもの、富めないものを分ける現在の食料システムを2030年までに改善できなければ、その先の未来に待ち受けるのは「破滅」という悪夢であると研究者たちは指摘する。”(NHKのネットから)と云う。リアルの映像が怖くなった。

○番組ナビゲーターの森七菜さんが2050年の日本で直面する「破滅」へは2030年が分岐点になる。未来の人類に誇れる10年にしたいと訴えていた。2030年はSDGS(持続可能な開発目標)ゴールの年である。

○SDGSには温暖化対策もジェンダーフリーもある。地球温暖化では化石賞を小泉大臣が2度受賞した。温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにすると菅総理が表明したが、森七菜さんの“2030年が分岐点になる”の答えになっているとは思えない。ジェンダーギャップ指数で153カ国中の121位である。森会長の発言が象徴している。批判の世論も海外と国内の温度差が大きい。やはり政治三流は否めない。

○食料クライシスでも示されていたが、食料自給率は40%で日本は世界で一番低い。食料の約60%を輸入に頼っていることから、フードマイレージ(food mileage)の総数および国民1人あたりに換算した値でも、世界でも群を抜いて高い数値になっている。数値は地球環境への負荷を意味する。フードマイレージを減らす方策は、最近話題にならなくなった「地産地消」である(私も反省)。国内においても、その地域で作られたものを地域内で消費する、「地産地消」の推進が改めて問われている。

○政治三流がもたらしたのかも知れないが、井の中の蛙になってはいけない。日本は決して進んだ国ではない。その自覚から始める必要がある。SDGSは6年目になるが、真摯な取り組みが問われている。ナビゲーター森七菜さんの“未来の人類に誇れる10年にしたい”に、少しでもしたいものである。(了)

○断捨離考:資料類の整理、通常分別廃棄のみ。断捨離リストの進捗なし。

【後記】恵方巻が美味、春一番吹く。コロナ収束が待ちどろしい。【編集せずランダム構成】



<手賀沼ウォーキングで>対岸に志賀直哉宅跡などが。2日撮影

発行者;小暮虎雄

住所;笠間市本戸4201-10

携帯電話;090-9333-4135

HP;kogure農場

メール;torao-k@nifty.com